

国内初、非対面の診療・服薬指導と連携

期間：2020年（令和2年）～

医薬品
配送



旭川市

目的

- 医薬品や日用品などの恒常的な配送体制維持が困難となりつつある地域の課題解決と、ウィズコロナ時代における診療・服薬指導及び配送時の感染リスクの低減

背景・課題

- 診療所の後継者不足や過疎地域における医師・看護師等の医療従事者数は減少傾向
- 診療・服薬指導はオンライン対応が可能である一方、医薬品は物理的な配送が必要

事業のポイント



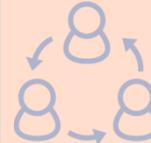
- ✓ 非対面の「診療・服薬指導・医薬品配送」を一気通貫で実施
- ✓ 市街地におけるドローンの目視飛行
- ✓ 医師、薬局薬剤師、行政機関の協力

期待される効果



- ✓ 地方等の通院困難者に対する非対面サービス（診療・服薬指導・医薬品配送）の実現

推進体制 <主催>



ANAホールディングス(株)、(株)アインホールディングス、(大)旭川医科大学、経済産業省北海道経済産業局、旭川市ほか

概要

- ✓ 診療所の後継者不在や診療所開設者・法人代表者の高齢化により、今後、中核都市においても診療所の大幅減少が懸念されており、ICT等の先端技術の活用による一次医療圏の維持・強化が課題となっています。
- ✓ 北海道は、都市が広域に分散しており、全国で最も医師数の偏在が著しい地域であり、医療アクセスの悪化が進んでおり、二次・三次医療圏の維持・強化にも、先端技術を活用した非対面医療の体制構築が課題となっています。
- ✓ 2020年7月に、旭川市において、病院と患者のオンライン診療、調剤薬局と患者のオンライン服薬指導、患者へのドローンを使った処方箋医薬品配送、を連動させた一気通貫の「非対面医療」の実証を国内で初めて実施しました。



患者が入居する施設に医薬品を手渡しで配送